

[総会資料と決定事項]

日本透析医会通常総会資料および主な決定事項

日本透析医会通常総会が平成 14 年 5 月 19 日（日）午後 2 時からホテルニュー神田（東京）にて開催された。以下に、その際の資料（抜粋）と主な決定事項を報告する。

（社）日本透析医会通常総会資料

Ⅰ 平成 13 年度事業報告書

Ⅱ 平成 13 年度収支決算書

Ⅲ 平成 14 年度事業計画書（案）

Ⅳ 平成 14 年度予算（案）

平成 14 年度通常総会での主な決定事項

（社）日本透析医会通常総会議事録

（社）日本透析医会役員名簿

(社) 日本透析医会通常総会資料

[第1号議案]

I 平成13年度事業報告書

第1会議

1. 総会

平成13年度通常総会

- 平成13年5月20日 第1号議案 平成12年度事業報告及び収支決算の承認を求める件
第2号議案 平成13年度事業計画及び予算の承認を求める件
第3号議案 役員の任期満了に伴う新役員の承認を求める件
第4号議案 定款の変更の承認を求める件
第5号議案 その他

2. 理事会

平成13年5月20日

通常総会付議事項

- 第1号議案 平成12年度事業報告及び収支決算の承認を求める件
第2号議案 平成13年度事業計画及び予算の承認を求める件
第3号議案 役員の任期満了に伴う新役員の承認を求める件
第4号議案 定款の変更の承認を求める件
第5号議案 その他

通常理事会審議事項

- (1) 委員会規則の変更を求める件
- (2) 厚生科学研究推進委員会要綱の承認を求める件
- (3) その他

常任理事会

1. 平成13年4月7日

- 協議事項 (1) 平成13年度通常総会・通常理事会関係資料について
- ① 役員の任期満了に伴う改選について
 - ② 委員会規則の変更について
 - ③ 厚生科学研究推進委員会要綱の設置について
 - ④ 石丸先生への書簡について

- (2) 会計ソフトの更新について

- 報告事項 (1) 平成12年度厚生科学研究費補助金にかかる監査について

(2) 標榜診療科にかかる厚生労働省への要望

- 決 裁 (1) 事務処理規則の改正について
 (2) 厚生科学研究推進委員会の部会について
 (3) 職員の任免について
 (4) 委員会規則の変更について

2. 平成 13 年 5 月 20 日

- 協議事項 (1) 平成 13 年度通常総会について
 ① 平成 12 年度事業報告及び収支決算について
 ② 平成 13 年度事業計画及び予算について
 ③ 役員任期満了に伴う新役員の選任について
 ④ 定款の変更について
 ⑤ その他
 (2) 平成 13 年度通常理事会について
 ① 式次第について
 ② 委員会規則の変更について
 ③ 厚生科学研究推進委員会要綱について
 (3) 給与規定の改正等について

- 決 裁 (1) 給与規定の改正等について

3. 平成 13 年 7 月 13 日

- 協議事項 (1) 平成 14 年度診療報酬改定要望書について
 (2) 平成 13 年度厚生科学研究補助金研究計画について
 (3) 創立 15 周年記念事業について
 (4) 医会雑誌等掲載原稿料について
 (5) 定款の目次の設置について
 (6) 外国人のメールについて（責任者の設置）
 (7) 会員向限定ホームページの新規設定について
 (8) 総会議事規則の改正について（理事会議事規則未施行）
 (9) その他

- 報告事項 (1) 会長の所信表明について
 (2) 英国腎臓移植患者日本訪問関係処理について
 (3) 各種委員会の構成員の選任について
 (4) 平成 13 年度レセプト実態調査について
 (5) 標榜診療科目問題について
 (6) その他

- そ の 他 (1) 会費・会員の状況について
 (2) その他

- 決 裁 (1) 定款の変更・事業報告及び決算報告・事業計画及び予算の提出について
(2) 理事の任期満了に伴う法務省登記及び報告等について
(3) 委員会規則の変更・厚生科学研究推進委員会要綱の施行について
(4) 公益増進法人証明申請（更新）の提出について

4. 平成 13 年 9 月 14 日

- 協議事項 (1) 平成 13 年度臓器移植普及推進月間国民大会後援・功労者推薦
(2) 平成 14 年度診療報酬改定要望書について
(3) 医会雑誌等掲載原稿料について
(4) 総会及び理事会議事規則の改正について
(5) 危機管理（災害関係規程等の整備について）
(6) ホームページへの情報公開について
(7) 外国人 E メールへの対応について（責任者の設定）

- 報告事項 (1) 災害時情報伝達訓練結果報告について
(2) 公益法人のホームページ開設状況調査について<情報公開>
(3) 復興支援組織の可能性に関するアンケート調査について
(4) 公益増進法人認可の範囲について
(5) 平成 13 年度厚生科学研究費補助金研究課題の評価結果について
(6) 平成 13 年度厚生科学研究費補助金研究事業国庫補助について
(7) 厚生科学研究に係る長寿科学振興財団の支援補助金について
(8) 標榜診療科「透析科」について
(9) 創立 15 周年記念行事について
(10) 委員会等議事録→常任理事・広報・厚生科学研究推進

- そ の 他 (1) 東京都災害時透析医療マニュアルの改定について
(2) 日本血液浄化技術研究会のホームページ掲載（厚生科学研究）
(3) 臓器移植普及推進月間・推進国民大会の後援について
(4) 会費・会員の状況について
(5) その他（シュレッターの交換に伴うリースについて）

- 決 裁 (1) 平成 14 年度診療報酬改定要望書について
(2) 定款変更厚生労働大臣の認可について
(3) 公益法人のホームページ開設状況調査について
(4) 復興支援組織の可能性に関するアンケート調査について
(5) 医会雑誌等原稿料の改訂について
(6) 総会及び理事会議事規則の改正について
(7) 平成 13 年度厚生科学研究費補助金交付申請について

5. 平成 13 年 11 月 17 日

- 協議事項
- (1) 情報管理規程の施行について
 - (2) 役員定年規程の施行について
 - (3) 危機管理関連規程について（災害対策規程）
 - (4) 危機管理関連規程について（災害情報運用規則）
 - (5) 会員限定ホームページ実施計画について
 - (6) 厚生科学研究に係る長寿科学振興財団の支援補助金について
 - (7) 預金保護対象金額（1 千万円保障）の次年度 4 月 1 日実施について
 - (8) その他

- 報告事項
- (1) 創立 15 周年記念行事について
 - (2) 公益増進法人認可及び助成の範囲について
 - (3) 標榜診療科「透析科」の要望書の厚生労働省提出について
 - (4) 医療制度改革に関する講演会について
（参議院議員 阿部正俊 山形）
 - (5) ウシ由来物等資料の会員送付について
 - (6) 血液浄化技術研究会のホームページ掲載（厚生科学）
 - (7) 腎不全対策を語る集い講演会御礼
 - (8) 平成 13 年度臓器移植普及推進月間国民大会功労者推薦について
 - (9) 委員会等議事録（常任理事・厚生科学・班会議・医器工）
 - (10) その他

- その 他
- (1) 委員会・部会活動について（医療廃棄物対策問題）
 - (2) 日本臓器移植ネットワークの諸問題について（会費・会員等）
 - (3) 会費・会員等の状況について
 - (4) その他

- 決 裁
- (1) 診療科名「透析科」の厚生労働省への要望について
 - (2) 会員限定ホームページの実施計画について
 - (3) ウシ由来物及びバクスター社製ダイアライザーに係る資料の会員あて郵送について
 - (4) 転載許諾について
 - (5) 臓器不全推進功労者推薦等について
 - (6) 平成 13 年度収支計算書中間決算について
 - (7) 平成 13 年度公益法人個別調査票について
 - (8) コンピュータソフト「MINT」に関する契約締結について

6. 平成 14 年 1 月 11 日

- 協議事項
- (1) 学会等研究助成審査委員会規則の改正について
 - (2) 学会等研究助成交付審査要綱の施行について
 - (3) 情報管理規程の施行について
 - (4) 役員定年規程の施行について
 - (5) 職員就業規則の改正について

- (6) 事務処理規則の改正について
- (7) 給与規定の改正について
- (8) 会計処理規則の改正について
- (9) 旅費規定の改正について
- (10) その他

- 報告事項
- (1) 平成 14 年年頭の会長所信表明について
 - (2) 平成 14 年度診療報酬改定の情報について
 - (3) 創立 15 周年記念行事について
 - (4) 厚生科学研究の進捗状況について
 - (5) C型肝炎ウイルス院内感染調査報告書（福岡市）について
 - (6) 土曜日の勤務体制について
 - (7) 議事録 常任理事会
 - (8) 議事録 厚生科学研究班会議

- その他
- (1) 会費・会員等の状況について
 - (2) その他

- 決 裁
- (1) 学会等研究助成審査委員会規則の改正
 - (2) 学会等研究助成交付審査要綱の施行について
 - (3) 情報管理規程の施行について
 - (4) 役員定年規程の施行について

7. 平成 14 年 3 月 3 日（臨時）

- 協議事項
- (1) 平成 14 年度診療報酬改定及び関連事項について
 - (2) その他

8. 平成 14 年 3 月 22 日

- 協議事項
- (1) 平成 14 年度通常総会及び通常理事会について
 - (2) 平成 14 年厚生労働科学研究事業について
 - (3) 公益増進法人助成に係る事務の取扱について
 - (4) その他

- 報告事項
- (1) 平成 14 年度厚生労働科学評価委員（C型肝炎）の推薦について
 - (2) 平成 14 年度診療報酬改定について
 - (3) 平成 14 年度診療報酬改定説明会について
 - (4) 第一生命保健文化賞について
 - (5) 委員会等議事録について
 - (6) 医療機関による広告の規制緩和について

- その他
- (1) 会費・会員等の状況について
 - (2) その他

- 決 裁
- (1) 事務処理規則の改正について
 - (2) 会計処理規制の改正について
 - (3) 災害対策規程の新規施行について
 - (4) 災害情報運用規則の新規施行について
 - (5) 職員就業規則の改正について
 - (6) 給与規定の改正について
 - (7) 旅費規定の改正について
 - (8) 職員就業規則及び給与規程改正に伴う職員代表の意見について
 - (9) 職員就業規則第 52 条（慶弔見舞金）の取扱について
 - (10) 職員の人事異動発令について
 - (11) 第 54 回保健文化賞の推薦について
 - (12) 日本医師会会長への創立 15 周年記念講演依頼について
 - (13) 厚生労働省の役員に関する調査について
 - (14) 日本医師会からのホームページリンクについて
 - (15) 厚生科学研究に係る立替金の借用について
 - (16) 公益増進法人助成に係る事務の取扱について
 - (17) 平成 14 年度厚生労働科学に係る評価委員の推薦について

委員会	開催年月日	備考
11. 学会等助成審査委員会	平成 13 年 07 月 13 日 平成 13 年 11 月 17 日 平成 14 年 01 月 11 日 平成 14 年 03 月 22 日 平成 14 年 03 月 22 日	第 4 回日本在宅医学会総会 第 22 回日本アフェレシス学会 第 40 回日本人工臓器学会 第 13 回日本サイコ・ネフロロジー研究会 第 14 回日本在宅医療研究会学術集会
12. 倫理委員会		

平成 13 年度委員会報告

1. 適正透析療法委員会

(1) 適正透析導入部会

透析導入者審査委員会設置支部（栃木・愛知）に助成した。

(2) 適正透析普及部会

（平成 13 年度 1 回開催）

日 時：平成 12 年 4 月 9 日（日）午後 1 時 30 分～午後 3 時 30 分

場 所：ホテルニュー神田

議 題：平成 12 年度診療報酬改定について

講 師：厚生省保険局医療課

課長補佐 厚生技官 新村和哉

(3) 適正医療経済部会

（平成 13 年度 6 回開催）

1) 透析医療費の分析について検討を行い、平成 13 年 6 月分外来透析レセプト集計が行われ、報告については平成 14 年度日本透析医会雑誌 2 号において報告予定です。

2) 医会と医器工の合同により医療材料費制度改革について意見交換された。

（人工腎臓機能区分の見直しについて）

3) 透析施設基準検討委員会（W・G）について、2 回にわたり討議された。今後も引続き検討し、作業を進めていきます。

2. 危機管理委員会

(1) 災害時透析医療対策部会

（平成 13 年度 1 回開催）

災害時情報ネットワークシステムの設立については、引続き検討し、作業を進めています。

栃木県及び鹿児島県に災害時情報システム構築

(2) 医療事故対策部会

（平成 13 年度）

厚生科学推進委員会と合同で「透析医療事故防止のための標準的透析操作マニュアル」を作成し会員に送付した。

3. 合併症対策委員会

（平成 13 年度 1 回開催）

平成 13 年度透析患者の合併症とその対策「透析患者の心不全」の発刊等について検討し、4 月に会員

に送付予定

4. 腎移植普及推進委員会

- (1) 平成 13 年度腎普及推進月間及び第 16 回腎移植推進国民大会の助成を検討した。
- (2) 同推進月間のポスター及び小冊子「献腎」を会員に配布した。

5. 腎不全予防医学調査研究委員会

(平成 13 年度 1 回開催)

腎不全マニュアルの発刊について検討し、平成 14 年度発刊予定

6. 研修委員会

(平成 13 年度 3 回開催)

- (1) 学術研究に助成した。

- 1) 兵庫県透析医会

研究課題：「糖尿病性腎症による透析患者の問題点」

- 2) 大阪府透析医会

研究課題：「透析中の赤血球 $\text{Na}^+ - \text{K}^+$ pump と嫌気性解糖系 —透析中の低血糖の機序—」

- 3) 香川県透析医会

研究課題：「維持透析患者におけるビタミン E 固定化ダイアライザーを用いた酸化ストレス軽減作用に関する検討」

- 4) 大阪府透析医会

研究課題：「慢性透析患者における身体活動性や生命予後に影響を及ぼす要因に関する前向き多施設共同研究」

- 5) 広島県透析連絡協議会

研究課題：「血液透析患者における動脈硬化進展と endothelial nitric oxide synthase (e NOS) 遺伝子多型性との関連性」

- (2) 下記支部が開催した講習会・講演会に助成した。

支 部 名	会 場	開 催 年 月 日
熊本県透析医会	済生会熊本病院	平成 13 年 5 月 14 日
鹿児島県透析医会	城山観光ホテル	平成 13 年 5 月 26 日
青森県透析医会	黒石市民文化会館	平成 13 年 6 月 3 日
広島県透析連絡協議会	広島国際会議場	平成 14 年 3 月 9 日
愛知県透析医会	名古屋国際ホテル	平成 13 年 11 月 25 日
北海道透析医会	札幌市医師会館	平成 13 年 11 月 18 日

- (3) (社) 日本透析医会シンポジウムを開催した。

「医療保険適用を視野に入れた血液浄化療法の系統化」

日 時：平成 13 年 11 月 18 日（日曜日）

午前 9 時 30 分～午後 3 時 30 分

場 所：津田ホール

司 会：阿岸 鉄三（板橋中央総合病院）

天野 泉（社会保険中京病院）

講演者：青池 郁夫先生（信楽園病院）ほか 7 名

出席者：200 名

(4) (社) 日本透析医会研修セミナーを開催した。

透析医療における Current Topics 2002

「透析に導入しないとき，維持透析を中止するとき」

日 時：平成 14 年 3 月 3 日（日曜日）

午前 9 時 30 分～午後 3 時 35 分

場 所：津田ホール

司 会：大平 整爾（日鋼記念病院）

講演者：阿岸 鉄三先生（板橋中央総合病院）ほか 7 名

出席者：240 名

7. 広報委員会

（平成 13 年度 3 回開催）

(1) 日本透析医会の企画・編集等について，討議された。

(2) 医会雑誌 Vol. 16 No. 1 発刊

- 1) 透析細菌汚染の検出・測定法
- 2) 透析液清浄化の現状と評価上の問題点
- 3) 透析液清浄化の手法と管理
- 4) 透析液清浄化の臨床効果
- 5) 透析液清浄度の品質保証
- 6) 透析液清浄度基準はいかにあるべきか
- 7) 透析液の生物学的清浄度基準案
- 8) 災害時情報ネットワークー愛知県水害・鳥取西部地震の情報伝達ー
- 9) 愛知県集中豪雨による透析施設の被害調査（中間報告）
- 10) 広島県 C 型肝炎感染調査報告書の掲載にあたって
- 11) 広島県 C 型肝炎感染調査報告書
- 12) Acetate-free Biofiltration —20 世紀からの旅立ち—
- 13) 在宅血液透析の現状と将来
- 14) 特定保険医療材料について
- 15) 第 4 回透析医療費実態調査報告（その 1）
- 16) 支部だより（広島・北海道）

(3) 医会雑誌 Vol. 16 No. 2 発刊

- 1) 会長就任ご挨拶
- 2) 常任理事就任にあたって
- 3) 新しい Vitamin D 療法
- 4) 第 12 回国際サイコネフロロジー学会のトピックスから
- 5) 糖尿病腎症由来透析患者の閉塞性動脈硬化症
- 6) 相補・代替・伝統医療の透析患者への応用
- 7) 水害と地域災害対策
- 8) 兵庫県下の透析施設における医療監視について
- 9) 愛知県腎臓財団集計による糖尿病性腎症透析患者の臨床的評価

- 10) わが国の臓器移植の現状と展望
 - 11) 透析施設における院内感染対策について
 - 12) 尿毒症血清中の蛋白結合阻害因子の影響について
 - 13) 維持透析患者における後天性嚢胞化腎に対する超音波造影法の診断能に関する検討
 - 14) 第4回透析医療費実態調査報告(その2)
 - 15) 透析医療事故の実態調査と事故対策マニュアルの策定に関する研究
 - 16) 地域災害下における透析医療の実態調査と対応マニュアルの策定に関する研究
—有珠山噴火における透析医療をふまえて—
 - 17) 日本透析医会通常総会資料および主な決定事項
 - 18) 支部だより(静岡・大分)
- (4) 医会雑誌 Vol. 16 No. 3 発刊
- 1) 会長退任挨拶
 - 2) CDC ガイドラインに基づいた透析室内感染予防対策
—特に MRSA 感染予防対策について—
 - 3) 災害時情報ネットワーク会議と情報伝達訓練実施報告
 - 4) 災害時透析医療対策部会情報ネットワーク—芸予地震における情報伝達—
 - 5) 岡山県における透析医療危機管理システム—岡山方式—(第3報)
 - 6) 透析医療と経営—業界構造分析—
 - 7) 医療系廃棄物と内分泌かく乱化学物質の現状と課題
 - 8) 透析患者の栄養評価
 - 9) 透析医療 30 年, その今昔
 - 10) 愛知県透析施設における B 型および C 型肝炎ウイルス感染の現状
—愛知県透析医会共同研究—
 - 11) 「長期透析にともなう合併症の克服に関する研究」の概要
—Medical Information New Technology (MINT) システムの構築に向けて—
 - 12) 支部だより(大阪・徳島)

8. 厚生科学研究推進委員会

厚生科学研究「21世紀型医療開拓推進研究事業」長期透析に伴う合併症の克服に関する研究の第1段階として、透析定期検査値が発信する兆候を確実に把握し、検査結果を透析患者とスタッフに伝達・開示をするため、検査結果値を容易に集積・分析し、かつ蓄積できる MINT (Medical Information New Technology) システムを開発し、施設会員(1038施設)に配布した。

9. 学会等助成審査委員会

第4回日本在宅医学会総会	開催日	平成14年2月16・17日
第22回日本アフェレシス学会	開催日	平成14年6月14～17日
第40回日本人工臓器学会	開催日	平成14年10月2日～4日
第13回日本サイコ・ネフロロジー研究会	開催日	平成14年6月30日
第14回日本在宅医療研究学術集会	開催日	平成15年7月4日～6日

以上の調査研究学会等より申請を受け、審査した。

II 平成13年度収支決算書

1. 収支計算書（平成13年4月1日から平成14年3月31日まで）

(単位：円)

科 目	平成13年予算(案)	決 算 額	差 異	備 考
I 収入の部				
1. 入会金収入	600,000	690,000	90,000	
2. 会費収入	74,000,000	76,622,000	2,622,000	
3. 寄付金収入				
助成協賛金	86,500,000	60,893,000	-25,606,760	
助成金	0	10,000,000	10,000,000	
寄付金	0	3,191,534	3,191,534	
寄付金収入合計	86,500,000	74,084,774	-12,415,226	
4. 会場収入	0	386,000	386,000	
5. 受取利息収入	300,000	101,381	-198,619	
6. 雑収入	0	1,725,530	1,725,530	
当期収入合計 (A)	161,400,000	153,609,685	-7,790,315	
前期繰越収支差額	62,000,000	62,324,684	324,684	
収入合計 (B)	223,400,000	215,934,369	-7,465,631	
II 支出の部				
1. 事業部				
透析医療適正化事業費	19,017,000	6,636,914	-12,380,086	
地域透析医療システム事業費	24,650,000	5,508,644	-19,141,356	
腎移植普及推進事業費	8,186,000	7,434,934	-751,066	
腎不全予防医学調査研究費	11,890,000	4,631,093	-7,258,907	
研修等事業費	13,125,000	9,801,012	-3,323,988	
広報活動費	12,057,000	11,025,909	-1,031,091	
情報管理委員会	776,000	0	-776,000	
内規委員会	40,000	0	-40,000	
倫理委員会	776,000	0	-776,000	
学会等助成審査委員会	86,133,000	75,524,616	-10,608,384	
厚生科学研究推進委員会	0	23,419,008	23,419,008	
事業費合計	176,650,000	143,982,130	-32,667,870	
2. 管理費				
人件費	12,850,000	13,149,516	299,516	
家 賃	2,550,000	2,493,978	-56,022	
その他経費	9,905,000	10,711,451	806,451	
管理費合計	25,305,000	26,354,945	1,049,945	
3. 固定資産取得支出	2,000,000	0	-2,000,000	
4. 予備費	2,000,000	0	-2,000,000	
当期支出合計 (C)	205,955,000	170,337,085	-35,617,925	
当期収支差額 (A)-(C)	-44,555,000	-16,727,390	27,827,610	
次期繰越収支差額 (B)-(C)	17,445,000	45,597,294	28,152,294	

2. 正味財産増減計算書（平成13年4月1日から平成14年3月31日まで）

（単位：円）

科 目	金 額		
I 増加の部			
1. 資産増加額			
増加の部合計			0
II 減少の部			
1. 資産減少額			
当期収支差額	16,727,390	16,727,390	
2. 負債増加額			
退職金引当金繰入額	1,100,000	1,100,000	
減少の部合計			17,827,390
当期正味財産減少額			17,827,390
前期繰越正味財産額			299,238,056
期末正味財産合計額			281,410,666

3. 貸借対照表（平成14年3月31日現在）

（単位：円）

科 目	金 額		
I 増加の部			
1. 流動資産			
現金預金	46,055,860		
仮払金	237,970		
流動資産合計		46,293,830	
2. 固定資産			
(1) 固定資産			
銀行預金	232,000,000		
銀行預金合計	232,000,000		
(2) その他の固定資産			
電話加入権	563,372		
淡路建物ビル保証金	6,300,000		
警備保証金	50,000		
その他の固定資産合計	6,913,372		
固定資産合計		238,913,372	
資産合計			285,207,202
II 負債の部			
1. 流動負債			
預り金	130,000		
会費預り金	54,000		
所得税預り金	316,873		
住民税預り金	61,200		
厚生年金預り金	134,463		
流動負債合計		696,536	
2. 固定負債			
退職給与引当金	3,100,000		
固定負債合計		3,100,000	
負債合計			3,796,536
III 正味財産の部			
正味財産			281,410,666
（うち当期正味財産減少額）			(17,827,390)
負債及び正味財産合計			285,207,202

4. 計算書類に対する注記

1. 資金の範囲について

(1) 資金の範囲には、現金・預金、及び仮払金、及び預り金を含めている。

なお、当期末残高は、下記3に記載するとおりである。

2. 基本財産は平成14年4月1日よりペイオフ制度が実施されたことに伴い、銀行預金に科目変更をした。

3. 次期繰越収支差額の内容は次のとおりである。

(単位：円)

科 目	当期末残高
現金預金	46,055,860
仮 払 金	237,970
合 計	46,293,830
学会助成預り金	130,000
会費預り金	54,000
所得税預り金	316,873
住民税預り金	61,200
厚生年金預り金	134,463
合 計	696,536
次期繰越収支差額	45,597,294

5. 財産目録（平成 14 年 3 月 31 日現在）

（単位：円）

科 目	金 額		
I 資産の部			
1. 流動資産			
現金預金			
現金 現金手許有高	6,059		
郵便振替	319,839		
普通預金 東京三菱銀行神田支店	31,886,946		
三井住友銀行神田支店	565,681		
第一勧業銀行神田支店	826,821		
三井住友銀行神田小川町支店	288,830		
あさひ銀行神田支店	12,161,684		
仮払金	237,970		
流動資産合計		46,293,830	
II 固定資産			
1. 銀行預金			
東京三菱銀行（普通預金）	232,000,000		
銀行預金計	232,000,000		
2. 固定資産			
その他の固定資産			
電話加入権	563,372		
保証金 淡路建物ビル保証金	6,300,000		
警備保証金	50,000		
その他の固定資産合計	6,913,372		
固定資産の部合計		238,913,372	
資産の部合計			285,207,202
II 負債の部			
1. 流動負債			
預り金			
預り金	130,000		
年会費	54,000		
職員等に対する源泉所得税	316,873		
職員等に対する住民税	61,200		
職員等に対する厚生年金	134,463		
流動負債合計		696,536	
2. 固定負債			
退職給与引当金	3,100,000		
固定負債合計		3,100,000	
負債の部合計			3,796,536
正味財産			281,410,666

管理費内訳

(単位：円)

給料	11,078,439	報酬(要源泉)	722,221
法定福利費	1,444,292	諸謝金	200,000
通勤費	626,785	水道光熱費	185,029
旅費交通費	702,640	家賃	2,493,978
会議費	142,617	諸会費	400,353
交際接待費	10,710	租税公課	5,000
福利厚生費	79,943	慶弔費	31,500
印刷製本費	939,423	雑費	338,190
通信運搬費	720,892	常任理事会費	172,310
事務・消耗品費	542,971	総会・理事会費	1,361,842
委託費	2,904,000	備品購入費	1,251,810
		合計	26,354,945

[第2号議案]

Ⅲ 平成14年度事業計画書(案)

事業計画の概要

1. 透析医療の適正化に関する調査研究事業

適正な透析療法の検討に関する調査・研究

適正透析療法委員会	[委員会のもとに7部会を置く]
-----------	-----------------

* 透析療法の質的向上と普遍化を目的とする調査・研究

(1) 適正透析導入部会

適正な導入時期に関する調査・研究

(2) 維持透析療法部会

適正な維持透析療法に関する調査・研究

(3) 適正透析普及部会

適正な透析療法の普及推進を行う

(4) 適正医療経済部会

適正な透析医療経済に関する調査・研究

1) レセプト分析

2) 施設機能評価の調査・研究

3) 透析医療経営実態調査

- ・平成14年度診療報酬改定に関する要望を厚生労働省、日本医師会等に実施した。
- ・平成14年度は、厚生科学研究推進委員会と協力して、厚生労働科学研究補助により透析医療事故防止体制の確立に関する研究を実施する予定である。

(5) 医療廃棄物対策部会

・医療廃棄物対策に関する調査・研究

- ・平成13年度は、医療廃棄物有識者を招聘し、医療廃棄物の実態、資源リサイクル及び根拠法令等の説明会を実施した。

(6) 在宅血液透析部会

在宅治療(CAPD・在宅血液透析等)の適応基準の調査・研究

(7) 医療制度検討部会

・医療制度における透析医療との関連に関する調査・研究

- ・透析医学会と共同して厚生労働省に対し、医療法に基づく広告できる診療科「透析科」標榜の要望申請書を提出し、日本医師会に協力の要請をした。

2. 地域医療システムに関する調査研究事業

透析施設間の相互連携による地域透析医療システムを確立するための調査・研究

① 危機及び災害時における救急透析医療システムの作成に関する調査・研究

危機管理委員会	[委員会のもとに3部会を置く]
---------	-----------------

(1) 災害時透析医療対策部会

- 平成14年度より、災害対策規程及び災害情報運用規則を設け、地域災害対策推進の拡大を図ることとした。

- ・ブロック別災害時救急透析医療システムの構築

(2) 感染症対策部会

院内感染実態調査及び感染防止対策の調査・研究

(3) 医療事故対策部会

- ・平成14年度は、新規研究事業として、厚生科学研究推進委員会と協力して、厚生労働科学研究補助により透析医療事故実態調査分析、看護基準、機器操作基準、建物等構造物安全基準及び院内感染防止対策に関する研究を実施する予定である。

② 長期透析患者の合併症に対する調査・研究

合併症対策委員会

- 1) 透析導入の初発原因（原疾患・病因等）に関する調査・研究
- 2) 患者の高齢化に伴う収容施設の相互連携化に対する調査・研究
- 3) 患者の長期生存に伴い発生する合併症及びその原因に対する調査・研究

3. 国等公的機関の実施する透析医療科学研究推進事業

厚生科学研究推進委員会

[委員会のもとに1部会を置く]

透析医療IT化推進部会

- *平成13年度厚生科学研究計画については、3年計画の初年度として次の研究を実施し、引き続き平成14年度については、フェーズ2を実施する。

・21世紀型医療開拓推進研究事業

長期透析に伴う合併症の克服に関する研究の実施（3年計画 初年度）

- *平成14年度厚生労働科学研究計画について

・21世紀型医療開拓推進研究事業

長期透析に伴う合併症の克服に関する研究の実施（3年計画 2年目）

- ・透析医療施設における事故防止体制の確立に関する研究（3年計画 初年度）を実施する予定である。

- (1) 透析医療事故実態調査分析
- (2) 看護基準・機器操作基準
- (3) 建物等構造物安全基準
- (4) 院内感染症防止対策（C型肝炎）

4. 学術研究会等公益増進法人助成推進事業

学会等研究助成審査委員会

（助成先の適合審査の実施）

学会等研究助成交付審査委員会

（助成金の交付審査の実施）

- *平成13年度は、7件の助成推進事業を実施した。

- *平成14年度は、特定公益増進法人事業の一層の拡大を図ることとし、寄付金募集趣意事項を定め、また、学会等研究助成審査委員会の他に新たに、学会等研究助成交付審査委員会を設け、助成の公平性と適正化及び助成先の充実及び拡大を一層推進することとした。（総会資料140頁参照）

5. 腎移植普及推進に関する事業

腎移植普及推進委員会

- *会員及び患者に対する協力・普及を目的とする。

- 1) 臓器移植推進月間・腎バンク及び地方腎移植推進システムへの協力
- 2) 会員に対する腎移植の啓発・教育（脳死問題を含む講演会及び腎移植広報活動等）
- 3) 患者に対する腎移植推進（会員の日常業務として、地区患者を対象とする推進協力）
- 4) 関係団体への協力事業（医療施設や遺族に対するドネーションの啓発）
- 5) 腎移植コーディネーター問題の研究

6. 腎不全予防医学の調査研究事業

腎不全予防医学調査研究委員会

* 透析導入を予防し、残腎機能を維持させるための調査・研究

- ・透析導入前の慢性腎不全患者に対する保存的維持療法の調査・研究及び関係団体への協力について推進する。

7. 研修等事業

研修委員会

- 1) 腎不全臨床医療スタッフの研修会の開催
- 2) 学術研究への協力
- 3) 関係学会・団体との研究協力
- 4) 国内講演会等の開催

8. 広報活動及び刊行物の発行に関する事業

広報委員会

* 機関誌等の発行

- 1) 医会雑誌（年3回発行）
内容充実に一層の努力をする。
- 2) 医会ニュース・速報等
必要の都度発行する。

9. 会員の教育・研修及び倫理向上に関する調査研究事業

倫理委員会

* 会員の倫理向上に関する調査・研究

10. 情報の公開等適正管理及び情報管理に関する事業

情報管理委員会

* 本会が保有する文書、図画、図面及び電磁的記録等の情報の公開管理、適正保管及びその創意工夫等の調査研究

- ・平成14年度より、情報管理規程を設け、情報公開等の適正活用を推進する。特に、会員向け限定ホームページの新設と既存ホームページの内容充実並びに関係団体への情報提供の拡大を図る。（総会資料116頁参照）

IV 平成 14 年度予算 (案)

[収入の部]

(単位：千円)

区 分	平成 13 年度予算	平成 14 年度予算 (案)	増 減
1. 会費収入	74,000	76,000	2,000
2. 入会金収入	600	600	0
3. 寄付金収入	86,500	106,000	19,500
4. 受取利息	300	30	-270
5. 前年度繰越金	62,000	17,445	-44,555
計	223,400	200,075	-23,325

[支出の部]

(単位：千円)

区 分	平成 13 年度予算	平成 14 年度予算 (案)	増 減
1. 事業費	176,650	189,690	13,040
2. 管理費	25,305	27,465	2,160
3. 予備費	2,000	2,000	0
4. 固定資産取得支出	2,000	0	-2,000
5. 次年度繰越金	17,445	-19,080	-36,525
計	223,400	200,075	-23,325

支出の部内訳

(単位：千円)

区 分	平成 13 年度予算	平成 14年度予算 (案)	事業率	増 減
I 事業費 (調査研究事業費)	176,650	189,690		13,040
1) 適正透析療法委員会				
(1) 適正透析導入部会	1,963	1,946	1.00	-17
(2) 維持透析療法部会	1,438	1,439	0.80	1
(3) 適正透析普及部会	2,589	2,551	1.30	-38
(4) 適正医療経済部会	8,106	8,325	4.40	219
(5) 医療廃棄物対策部会	1,016	998	0.50	-18
(6) 在宅血液透析部会	508	507	0.30	-1
(7) 医療制度検討部会	3,397	3,380	1.80	-17
2) 地域透析医療システム				
(1) 災害時透析医療対策部会	5,165	5,015	2.64	-150
(2) 感染対策部会	3,391	2,255	1.19	-1,136
(3) 医療事故対策部会	3,391	2,255	1.19	-1,136
(4) 合併症対策委員会	7,576	3,735	1.97	-3,841
3) 腎移植普及推進委員会	8,186	8,125	4.28	-61
4) 腎不全予防医学調査研究委員会	11,890	7,345	3.87	-4,545
5) 研修委員会	13,125	14,358	7.57	1,233
6) 広報委員会	12,057	12,354	6.51	297
7) 情報管理委員会	776	1,113	0.59	337
8) 内規委員会	40	40		0
9) 倫理委員会	776	779	0.41	3
10) その他の事業				
(1) 学会助成等審査委員会	86,133	82,588	43.55	-3,545
(2) 厚生科学研究推進委員会	5,127	19,456	10.26	14,329
(3) 15周年記念シンポジウム実行委員会		11,126	5.87	11,126
II 管理費				
1) 人件費	12,850	13,110		260
2) 家賃	2,550	2,350		-200
3) その他の経費	9,905	12,005		2,100
III 予備費	2,000	2,000		0
IV 固定資産取得支出	2,000	0		-2,000
V 次年度繰越金	17,445	-19,080		-36,525
計	223,400	200,075		-23,325

平成 14 年度通常総会での主な決定事項

平成 14 年 5 月 19 日（日）午後 2 時から通常総会が、東京のホテルニュー神田で開催された。平成 13 年度の事業報告と収支決算が第 1 号議案として提出され承認された。平成 14 年度事業計画と予算は第 2 号議案で、また、規定等の改正及び施行に関する件が第 3 号議案として提出され併せて承認された。第 4 号議案であるその他については、平成 14 年度の診療報酬改定について山崎会長が概略を説明したが、出席会員からは不満の発言が相次いだ。総会の主な内容について、以下に要約する。

事業報告について

通常総会、理事会、常任理事会および委員会活動の報告がされた。報告された主な事項の内、標榜科、厚生科学関連と当会の 15 周年関連について説明したい。

透析に携わる医師にとって標榜科の確立は悲願と表現しても過言ではない。日本透析医学会との連携下に日本医師会に要望書を提出し、厚生労働省にも（総会資料 190 頁参照）平成 13 年 11 月 12 日に、医療法第 70 条及び医療法施行令第 5 条の 11 により診療科として広告することができる診療科名「透析科」に関する要望についてと題し、医学会と連名で要望書を提出し受理された。すでに広く普及し実績を上げている治療であること、名称の不統一が存在し医療機関およびこれを利用する患者の中で混乱を生じていること、保険審査や集团的個別指導においても透析部門の専門性がすでに認識されていること等を要望する根拠とした。

認可の経過と見通しについての質問がなされ、会長は、標榜診療科については、医道審議会の中の委員会で審議されるがその委員会が現在まで開催されていないこと、そして年度を越えても提出要望書が有効である旨を回答した。

厚生科学関連については、すでに、会員諸兄のお手元に MINT（Medical Information New Technology）と記されたフロッピーが届けられているが、その制作過程と今後の展開について報告された。本研究のコンセプトは、合併症予防のために、透析定期検査の標準的な評価と、患者とともにその結果を利用するものである。運用の要点は、検体検査結果を検査所がフロッピーに落として会員施設に届けること、および会員施設の IT 化を決して阻害しないことにある。

会員施設としての作業は、患者に一意的カルテ番号（ID 番号）が符番されているかの確認と患者登録作業である。患者が多数な施設や、一意的カルテ番号が生涯を通じて患者に符番されていない施設では、この作業は地味で根気が必要な作業となる。が、この作業を終えると自在に操作が可能となる。配布された MINT が活用されることを願うものである。

ところで当会も設立 15 周年を迎える。合併症対策委員会は、記念事業として過去同委員会が編集発行した書籍から内容を検討した上で編纂し、記念行事に併せて会員諸兄に配布するための作業を開始した。なお、創立 15 周年記念行事は今秋 11 月 10 日（日）の午後 1 時から全共連ビルで開催され、日本医師会糸氏副会長が基調講演「21 世紀の医療」（仮題）をされる予定である。

事業計画について

平成 14 年度事業は基本的に前年度事業を継続することが承認されたが、新規事業としては合併症診断と治療マニュアルの作成、MINT の第 2 版、透析医療施設における院内感染防止および医療事故等防止のための基準等の確立に関する研究、そして会員限定ホームページの開設が挙げられる。

合併症診断と治療マニュアルの作成は、循環器合併症・シャント関連・透析アミロイドーシス・腎性骨異常栄養症・消化器系疾患・血液系疾患・感染症・腎尿路系疾患・皮膚疾患を大項目とするものであり、シェーマ式に簡便な、そして使い勝手のよい座右の書として発行する予定である。また、その内の貧血・CaとPと透析量の3項目については、診断と治療をソフト化しMINT第2版として会員各位に配布する事業である。

透析医療施設における院内感染防止および医療事故等防止を含む安全対策基準の確立に関する研究は、厚生科学研究の対象となるものである。この中では、透析医療の安全と質の担保を目的として、たとえばコンソール1台当たりの透析室面積、スタッフ当たりの受け持ち患者数等をアンケート調査し、施設機能評価や施設基準を検討し、具体的な条件整備を提言することとなる。

会員限定ホームページは、本年4月1日から会員各位が診療・経営・運営について問題を抱えたり疑問に感じることをQ&A方式で答えたり、医会および会員にとっての重要な情報を提供する目的で開設された。これを利用するための会員番号とパスワードはすでにお手元に届けられている。この中で、経営支援には、保険審査関係・薬剤関連・材料関係等を、診療支援には、感染症対策・合併症対策・適正透析推進・適正検査関連等を、運営支援には、運営管理関係・人事労務関係・施設基準・公的機関通達等に関する情報を提供する。

合併症対策委員会の「患者の高齢化に伴う収容施設の相互連携化に対する調査・研究」事業計画に対し、具体的内容の提示が質問された。来年度の介護保険改定を踏まえて、今後の委員会での検討という回答がなされた。

平成13年度決算および平成14年度予算について

平成13年度決算は総会資料のごとく承認された。昨年度は、単年度-14,891,838円であったが今年も-16,727,390円の単年度での赤字であった。予算では、-44,555,000円であったので多少の努力をご理解頂きたい。

平成14年度予算に関しては、承認されたものの配布した総会資料に大変な誤植がありお詫びしなければならない。本文に続いて正しい予算書を添付する。総会資料の支出の部内訳に誤植があって正誤表の配布ができなかったが、予算総額は200,075,000円と変わらない。

規程等の改正及び新規施行の承認を求める件

提案通り承認された。

平成14年度診療報酬改定について

初めての診療報酬本体のマイナス改定と、引下げ幅としても過去最高の▲2.7%の改定に対して、本会の対応が会長から説明された。日本医師会や厚労省に要望書を提出し日本医師会の理解を求めてきたが、11月末の政府与党の診療報酬改定に係るワーキンググループ資料中に人工透析の技術料見直しがあり、医系議員に打診して確認作業に入ったところ、1月30日に開催された中医協の改定案で、慢性維持透析患者外来医学管理料の引下げ、食事加算の廃止と透析時間評価の撤廃が示された。これを受け、2月1日に従来の4時間透析を基本点数とする旨の抗議に近い緊急要望を、厚労省保険局医療課長と菅谷日医常任理事に提出した。しかしながら、飽くまでも財政主導の改定であり阻止し得なかったと経過報告がなされた。

出席会員からは、透析分野の引下げ率が▲8.3%にもなる、透析に医療費引下げ分2,800億円の内1,000億円を課した、本会の責任を問う、緊急影響調査を行い分析して厚労省へ再要望を、療養の一環として提供された食事の定義とはなにか、透析医療施設存続の危機、透析時間の短縮による余命への影響等の要望や質問が提出され、熱い議論がされた。

専務理事の、国庫面からみて今改定もやむなしとする考えに対しては、了解できる部分もあるが、非難もあった。

レセプト定点観測以外の調査活動が必要との提案を受け、今改定について、会員施設への影響と施設の対応を調査し、改善点を会員に報告することが決定された。現在、3月分を新点数に換算し新旧対比の確認作業を行っている。

最後に会長は、日本透析医学会が膨大なデータから得た「透析時間は長ければ長いほうがよい」と言うのが、透析医会の会員のみならず全国の透析医師の考え方だと思ふと、結んだ。

(文責 鈴木 満)

(社) 日本透析医会通常総会議事録

開催場所：ホテルニュー神田（千代田区神田淡路町 2-10）

開催日時：平成 14 年 5 月 19 日 午後 14 時 00 分～16 時 00 分

会員総数：1,184 名

出席会員数：645 名（うち書面出席 621 名）欠席 539 名

出欠席者名簿：別添会員名簿により記載

通常総会を平成 14 年 5 月 19 日午後 2 時から開催した。

司会者事務局長加藤和男より、この通常総会が所定の定数を満たし有効に成立したことを報告し、会長山崎親雄の挨拶の後、議長の選出について図ったところ、全会一致で、今忠正を指名し、今忠正が議長となり、挨拶の後、議長より本日の議事録署名人に、吉田豊彦、杉崎弘章の両名を指名し、全員の賛同を得た後、直ちに議案の審議に入った。

第 1 号議案 平成 13 年度事業報告書及び収支決算書の承認を求める件

1. 常務理事杉崎弘章より平成 13 年度事業報告の説明をし、議長より議決を行った結果
賛成
2. 専務理事鈴木満より平成 13 年度収支決算の説明をし、議長より議決を行った結果
賛成
3. 監事大森伯より、監査報告の説明をし、議長より議決を行った結果
賛成

第 2 号議案 平成 14 年度事業計画及び予算の承認を求める件

1. 常務理事吉田豊彦より事業計画の説明をし、議長より議決を行った結果
賛成
2. 専務理事鈴木満より、予算の執行方針の説明をし、議長より議決を行った結果
賛成

第 3 号議案 規程等の改正及び新規施行の承認を求める件

事務局長加藤和男より各規程ごとの説明をし、議長より議決を行った結果

1. 総会及び理事会議事規則の改正に関する事項
賛成
2. 事務処理規則の改正に関する事項
賛成
3. 会計処理規則の改正に関する事項
賛成
4. 職員就業規則の改正に関する事項
賛成
5. 給与規定の改正に関する事項
賛成
6. 旅費規定の改正に関する事項

賛 成

7. 学会等研究助成審査委員会規則の改正に関する事項

賛 成

8. 情報管理規程の新規施行に関する事項

賛 成

9. 災害対策規程の新規施行に関する事項

賛 成

10. 災害情報運用規則の新規施行に関する事項

賛 成

11. 役員定年規程の新規施行に関する事項

賛 成

12. 学会等研究助成交付審査要綱の新規施行に関する事項

賛 成

以上を以て通常総会の議事全部の審議を終了したので議長は、閉会を宣して解散した。時に16時00分であった。

上記の議決を明確にするため、議長及び議事録署名人において次に記名、捺印をする。

平成14年5月19日

社団法人日本透析医会通常総会において

議 長 今 忠 正 ㊟

議事録署名人 吉 田 豊 彦 ㊟

同 杉 崎 弘 章 ㊟

(社) 日本透析医学会 役員名簿

役 職 名	氏 名	現 職
会 長	山 崎 親 雄	医療法人衆済会増子記念病院付属則武診療所 所長
副 会 長	今 忠 正	医療法人社団札幌北クリニック 院長
	飯 田 喜 俊	淀川キリスト教病院 教育顧問
専務理事	鈴 木 満	医療法人財団松園会 理事長 (東葛クリニック病院)
常務理事	吉 田 豊 彦	医療法人社団誠仁会 理事長 (みはま病院)
	杉 崎 弘 章	医療法人社団心施会 府中腎クリニック理事長
	小野山 攻	医療法人小野山診療所 理事長
	鈴 木 正 司	社会福祉法人新潟市社会事業協会信楽園病院 内科部長
	廣 田 紀 昭	廣田医院 院長
理 事	井 形 昭 弘	医療保健福祉審議会老人保健福祉部 会長
	太 田 和 夫	太田医学研究所 所長
	山 下 眞 臣	社会福祉法人恩賜財団済生会 理事長
	小 出 桂 三	社会保険都南病院 名誉院長
	前 田 憲 志	名古屋大学大幸医療センター 教授
	藤 見 惺	医療法人医心会福岡腎臓内科クリニック 院長
	松 田 鈴 夫	国際医療福祉大学 教授
	秋 澤 忠 男	和歌山県立医科大学血液浄化センター 教授
(東 北)	関 野 宏	医療法人宏人会 理事長 (医療法人宏人会中央病院)
(東 北)	村 上 秀 一	医療法人三良会村上新町病院 院長
(関 東)	黒 田 重 臣	国立東静病院 院長
(関 東)	秋 葉 隆	東京女子医科大学腎臓病総合医療センター血液浄化部門 教授
(甲信越)	土 屋 隆	医療法人輝山会 理事長 (輝山会記念病院)
(中 部)	指 出 昌 秀	医療法人一秀会 理事長 (指出泌尿器科)
(関 西)	後 藤 武 男	高砂市民病院 院長
(関 西)	小 野 利 彦	医療法人桃仁会 理事長 (医療法人桃仁会病院)
(中 国)	土 谷 晋 一 郎	医療法人あかね会 理事長 (土谷総合病院)
(中 国)	原 田 知	医療法人社団一陽会原田病院 院長
(四 国)	寺 尾 尚 民	医療法人尚腎会 理事長 (高知高須病院)
(九 州)	後 藤 宏 一 郎	医療法人後藤クリニック 院長
(九 州)	工 藤 寛 昭	医療法人杏和会 工藤医院 院長
監 事 (甲信越)	大 森 伯	大森内科医院 院長
	岩 月 史 郎	弁護士
	伊 原 美 好	公認会計士
名誉会長	稲 生 綱 政	医療法人大坪会東和病院 院長
	平 澤 由 平	社会福祉法人新潟市社会事業協会信楽園病院 顧問